

# 場面③富士山――

文18富士の山を<sup>①</sup>見<sup>②</sup>れ<sup>③</sup>ば、五月の<sup>④</sup>つ<sup>⑤</sup>ごもりに、雪<sup>⑥</sup>いと<sup>⑦</sup>白<sup>⑧</sup>う降<sup>⑨</sup>れ<sup>⑩</sup>り。

問一 傍線部①「見れ」の終止形は「見る」で、「ひいきにみ<sup>①</sup>る<sup>②</sup>」の中にあるから上二段活用。活用パターンは「イ<sup>③</sup>イ<sup>④</sup>る」「イ<sup>⑤</sup>る」「イ<sup>⑥</sup>れ」「イ<sup>⑦</sup>よ」。この「見れ」の活用形を答えよ。

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| ア未然 | イ連用 | ウ終止 | エ連体 |
| オ已然 | カ命令 |     |     |

文18 富士の山を<sup>①</sup>見れ<sup>②</sup>ば、五月の<sup>③</sup>  
つごもりに、雪<sup>④</sup>いと<sup>⑤</sup>白う降れ<sup>⑥</sup>  
り。

問二 傍線部②の「ば」は次の三つ  
の訳を持つ。この場合はど  
れ？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イゝので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、

「ば」の下が出来事が起こった。

ウゝするとゝゝしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、

「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

文18 富士の山を<sup>①</sup>見れ<sup>②</sup>ば、五月の<sup>③</sup>  
つごもり<sup>④</sup>に、雪<sup>④</sup>いと<sup>⑤</sup>白う降れ<sup>⑥</sup>  
り。

問三 傍線部③は漢字だと「月籠  
り」または「月隠る」と書く。  
傍線部③の意味は次のどれ？

ア月の初め イ月の中旬 ウ月末

参考 月の最初の日「ついたち」は  
漢字で書くと「月立ち」。

問四 傍線部④の訳は？

アわずかに イある程度 ウとても

文18富士の山を<sup>①</sup>見れ<sup>②</sup>ば、五月の<sup>③</sup>つごもりに、雪<sup>④</sup>いと<sup>⑤</sup>白う降れ<sup>⑥</sup>り。

問五 傍線部⑤について

(一)終止形にすると「白し」になる。  
品詞は？

ア動詞 イ形容詞 ウ形容動詞  
エ助動詞

(二)形容詞の連用形の「く」は  
「う」に変わってしまう場合がある。このように言いやすい方向に音が変化することを音便と呼び、「う」に変わってしまう場合はウ音便と呼ぶ。

ウ音便の例

高く↓高う

うれしく↓うれしう

傍線部⑤もウ音便だ。通常の形に直すと次のどれ？

ア白く イ白し ウ白き

文18 富士の山を<sup>①</sup>見れ<sup>②</sup>ば、五月の<sup>③</sup>  
つごもりに、雪<sup>④</sup>いと<sup>⑤</sup>白う降れ<sup>⑥</sup>  
り。

問六 傍線部⑥の「り」は完了の助動詞で、完了の助動詞「たり」と同様、次の二つの意味を持つ。ここではどちら？

ア完了（くしてしまった・くた）

※くの瞬間に注目

イ存続（くている・くである）

※く後の状態に注目

このページは空白ページです